電磁振動機用コントローラ

「Ｃ４－５Ｂ」取扱説明書

目　　次

（項　目）		（ページ）
１．	製品仕様	４
２．	外形図、回路図	４
３．	使用方法	５
４．	高頻度運転の対応	６
５．	故障と処置	７
６．	保証	７

シンフォニア テクノロジー株式会社

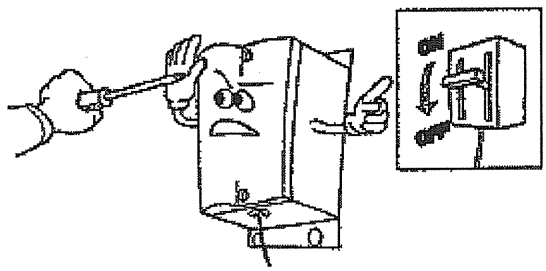
△1　2009.03.12　河合

このたびは、電磁振動機用コントローラ「Ｃ４－５Ｂ」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。正しくお使い頂くため、ご使用前にこの「取扱説明書」をお読みください。

⚠ 警告

Ⓐフロントカバーを取外す場合は、入力電源を遮断してください。

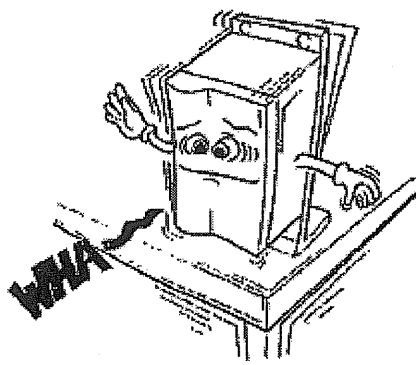
ケース内部は高電圧があるため危険です。



⚠ 注意

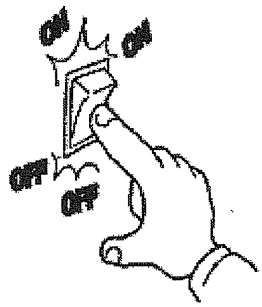
Ⓑ振動や衝撃にご注意ください。

振動や衝撃の影響のない強固な台に取付けてください。



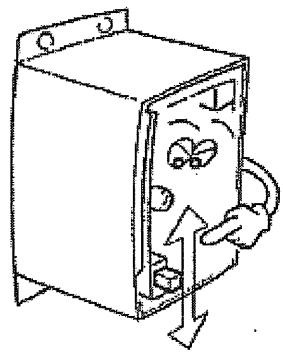
Ⓒ電源を頻繁に「入」「切」しないでください。

例えば数分毎に電源スイッチを「入」「切」して運転/停止すると、内部の電子部品を著しく劣化させ、故障の原因となります。



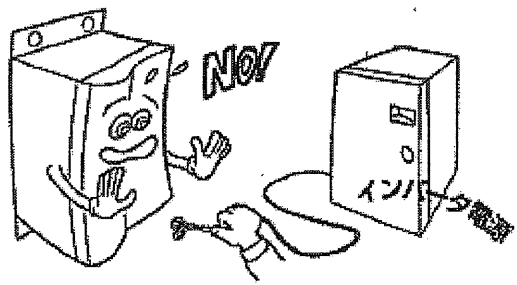
Ⓓ振動数切換スイッチはパーツフィーダに合わせてください。

全波・半波を誤って設定した場合、負荷のコイルを焼損させることがあります。



Ⓔインバータからの電源供給はしないでください。

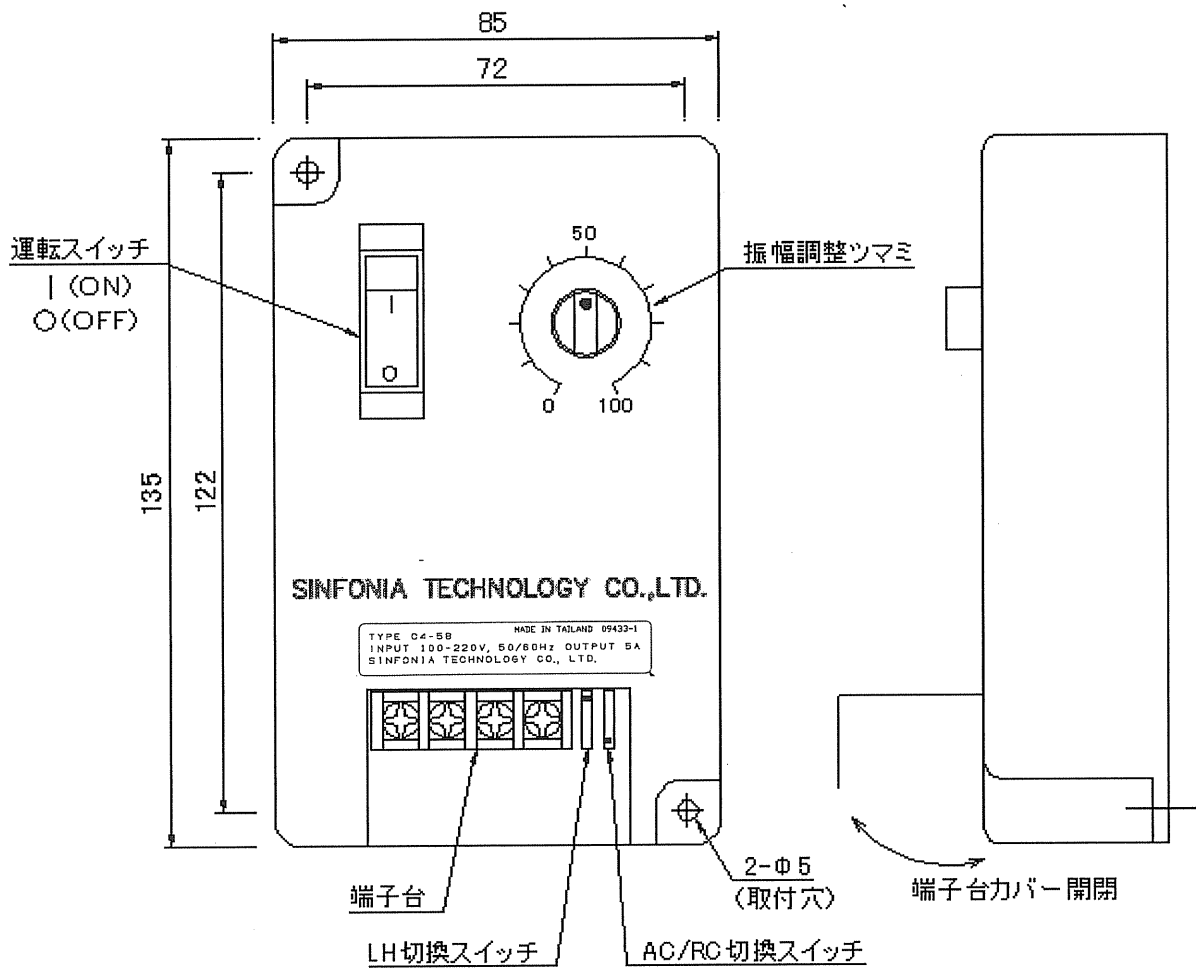
PWM方式インバータ電源による電源供給は、本コントローラを破壊させますので絶対に避けてください。



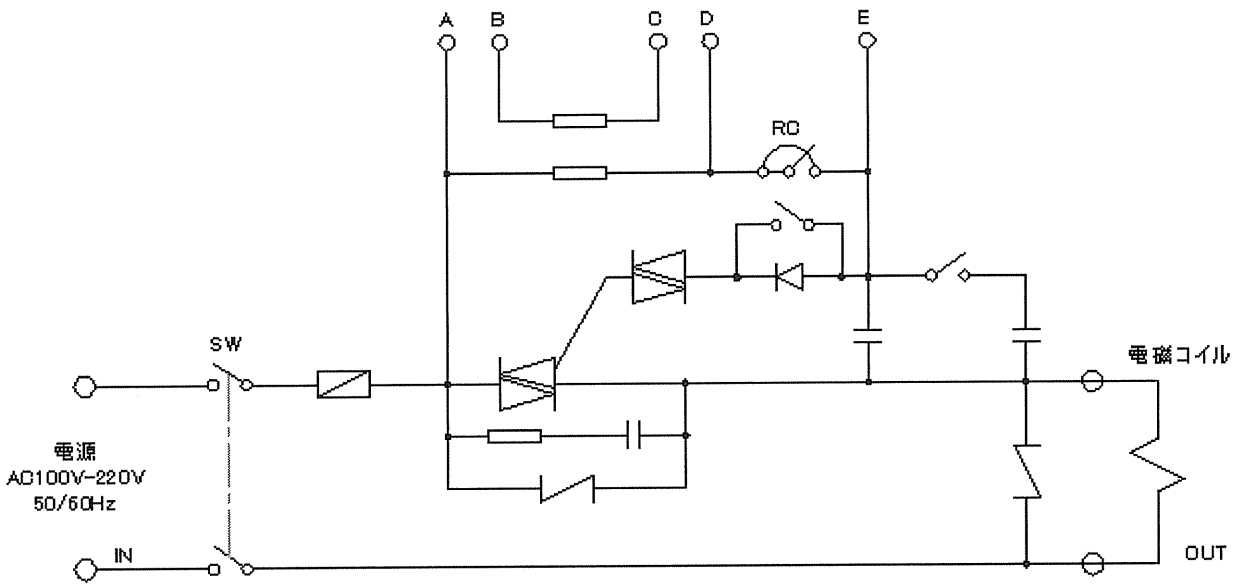
１．製品仕様

入力電圧	１００－２２０Ｖ、５０/６０Ｈｚ（共用）
出力電圧	５Ａ
出力周波数	全波・半波（切換）

２．外形図



回路図



３．使用方法

１）コントローラの入力・出力配線をしてください。

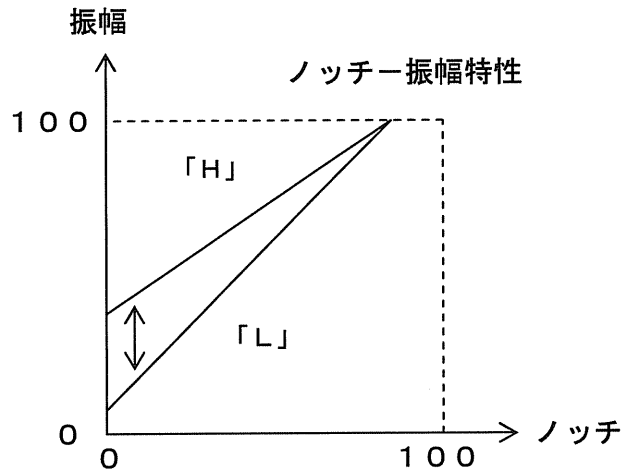
「注」電源電圧と振動機のコイル電圧が一致していることを確認ください。
電源電圧が１００Ｖでコイル電圧が２００Ｖの場合は定格振幅が出ません。
電源電圧が２００Ｖでコイル電圧が１００Ｖの場合は過振幅により機械破損や過電圧によるコイル焼損の原因になります。

２）ＡＣ/ＲＣ（全波/半波）を下表の振動機形式に合わせてセットしてください。

振動機形式				コントローラ
バイブレータ	パッカー	パーツフィーダ	フィーダ	ＡＣ/ＲＣ切換
Ｖ－２Ｂ Ｖ－４Ｃ Ｖ－１０Ａ		ＬＦ－０２ ＬＦ－０４		ＡＣ
Ｖ－２０Ｂ Ｖ－３０Ｃ ＶＧ－６０ ＶＧ－８０	ＶＰ－３０Ｃ ＶＧＰ－６０ ＶＧＰ－８０	ＬＦ－３０ ＬＦ－４０ ＭＦ－０４Ｃ ＭＦ－１５Ｃ	Ｆ－１５２ＢＤＴ Ｆ－２１２ＢＤＴ	ＲＣ

「注」ＡＣ/ＲＣのセットを間違えるとコイルが焼損する恐れがあります。

3）L/H（低/高）を選択してください。

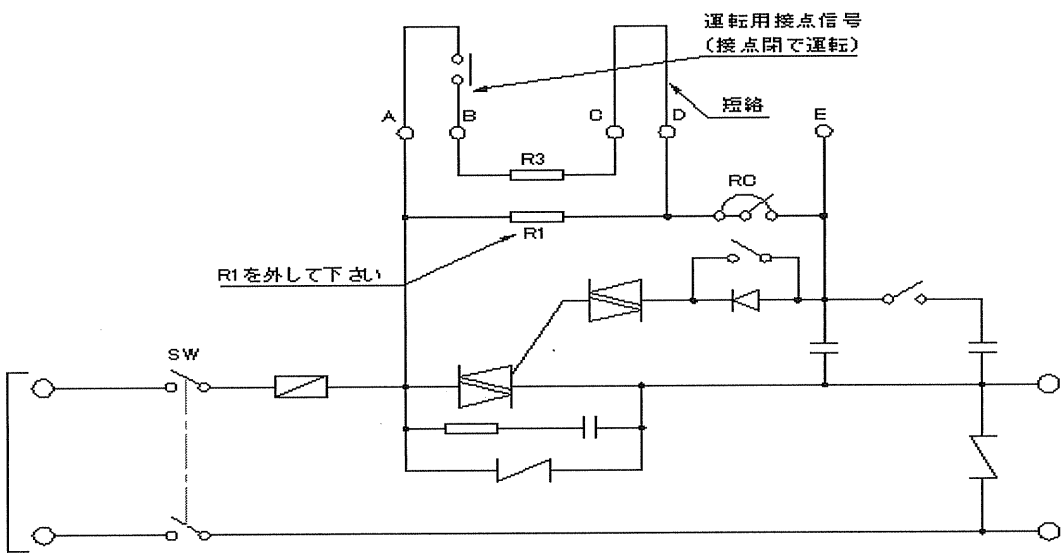


L/Hを切換えれば左図のように、
ノッチー振幅特性の下限振幅値が
変わりますから運転状況に合わせて
選択してください。

ＡＣ/ＲＣ（全波/半波）の選択
出力周波数を切替えるスイッチで、電磁振動機の形式に合わせてセットしてください。
（セットを間違えると、電磁コイルが焼損します。）
L/H（低/高）の選択
振幅設定器の下限振幅を切換えるスイッチで、運転状況に合わせてセットしてください。

４．高頻度運転の対応

コントローラ「Ｃ４－５Ｂ」の動力回路を高頻度（５分間に１回以上）で開閉させると、サージ電圧が発生し内部の部品の故障の原因となります。高頻度で運転停止する場合は下図の様に制御回路を開閉させる方式にしてください。
Ａ～Ｅはプリント基板上のホールとなっています。
運転信号線はコントローラの横に穴を開けてコントローラ外部に引き出してください。



５．故障と処置

！感電注意
コントローラを点検・処置するときは供給電源を切ってください。
コントローラのスイッチを「○（ＯＦＦ）」にしても入力配線には電気がきています。

ご使用中に異常が生じた場合はまず、次の点をお調べください。

異常の状況	点検事項	処　置
振動しない	・電源は供給されているか ・配線はゆるんでいないか	・電源を供給する ・配線ネジを締める
振幅が定格値まで出ない	・電源電圧はコイル電圧と一致しているか ・ＡＣ/ＲＣの切換は振動機の形式に合っているか ・振動機に異常はないか	・電圧を合わせる ・ＡＣ/ＲＣの切換を合わせる ・振動機を点検する
振幅が変化しない	・振幅設定器のツマミはゆるんでいないか	・ツマミのネジを締める

上記の処置でも正常にご使用できない場合は、販売店にご相談ください。

６．保証

保障期間は製品納入日より１年間です。（ただし、１日８時間運転として換算します。）

〔保証条件〕
①保証期間内に、取扱説明書、製品貼付けのラベル等の注意書に従った使用状態において発生した設計、材質、工作上の欠陥に起因する故障または破損について無償で修理または部品交換いたします。
②次のような場合は、保証期間内でも保証の適用外とさせていただきます。
a. 火災、地震、水害などの天災が発生した場合、指定外の電源（電圧、周波数）などによる故障また破損。
b. 製品の取扱いまたは操作上の誤りなどにより発生した故障。
c. 取扱説明書に記載の使用条件、使用方法、注意に反する取扱いによって発生した故障。
d. 弊社に連絡なく、お客様により改造または分解等が行われた場合。

（ご注意）

① 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。

② 本書の内容の一部または全部を無断記載することは固くお断りいたします。

2009年4月、(旧) 神鋼電機株式会社 から社名変更いたしました。

シンフォニア テクノロジー株式会社　振動機営業部

東京本社　〒105-8564　東京都港区芝大門1-1-30　芝NBFタワー
TEL 03-5473-1835　FAX 03-5473-1847

大阪支社　〒541-0041　大阪市中央区北浜2-6-26　大阪グリーンビル
TEL 06-6203-2246　FAX 06-6222-0300

名古屋支社　〒450-0002　名古屋市中村区名駅3-15-1 名古屋ダイヤビル2号館
TEL 052-581-9431　FAX 052-582-9667